I-PAL KAGAWA:Kagawa International Exchange Center

アイパル通信

2006 1

アイパル(I-PAL)の意味
アイは愛や国際交流(International　Exchange)を、パルは友達や仲間という意味を表し、アイパル香川が国際交流に関係するひとの拠点となるイメージを表現しています。

特集
寄稿
I-PAL NEWS
Information(県内イベント情報)
I-PAL REPORT

Ipal film festival 2006

アイパル映画祭2006

愛する人を見守り、家族を想い、友人を助ける…。
今年のアイパル映画祭は『愛のかたち』をテーマに、国を越えて、世代を越えて共感できるさまざまな想い(愛)をおとどけします。
寒い冬—。愛あふれる4つの物語が、あなたのこころをきっと暖かくしてくれます…。

【イブラヒムおじさんとコーランの花たち】

【わすれな歌】

【友だちのうちはどこ？】

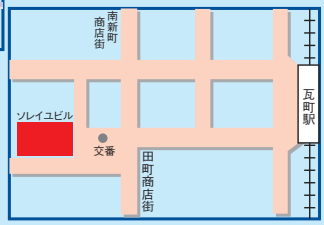
【ライフ・イズ・ミラクル】

●前売りチケット取り扱いについて
場　　所：アイパル香川（087-837-5908）
　　ホール・ソレイユ（087-861-3366）
発売期間：2006／01／07（土）～2006／02／06（月）
料　　金：4枚セット ¥3,200　2枚セット ¥1,800
　　1枚　¥1,000

●期間中・当日チケット取り扱いについて
場　　所：アイパル香川&ホール・ソレイユ
料　　金：1枚　¥1,200

●information
アイパル香川　㈶香川県国際交流協会（9:00～18:00）
〒760-0017　高松市番町1-11-63　Tel：087-837-5908
なお、月曜日（月曜日が休日の場合はその翌日の火曜日）はお休みです。

※チケットは映画、上映日の指定はありません。



2月7日(火)・9日(木)

『イブラヒムおじさんとコーランの花たち』　フランス、95 min、2003年

2004年ゴールデン・グローブ賞外国語映画賞ノミネート

①2/7　18：20　上映開始
②2/9　20：35　上映開始

「ほら、人生はすばらしい」
あの夏、ぼくは幸せになる秘密を知った。

パリの裏通りのユダヤ人街で、母の顔も知らず、父からも愛されずに育った13歳の少年モモ。ある日、彼は近所の年老いたトルコ人が営む小さな食料品店で万引をした。だが、そんなモモを叱りもせず、「盗みを続けるならうちの店でやってくれ」と微笑む店主イブラヒム。人種が違うにもかかわらず、イブラヒムはモモを守護天使のようにずっと見守っていたのだ。父から得られない大きな愛情に出会い、思春期のモモは笑うことや恋愛や人生の素晴らしさを学んでいく。

しかし父が自殺。母だけでなく父にも捨てられ、絶望するモモ。イブラヒムは彼のすべてを受け入れ、モモと二人で故郷へと旅に出るが…。

笑顔を知らないユダヤ人の少年に人生の素晴らしさを教えたのは、
年老いたトルコ商人だった。

賢明でつつましく、無限に広がる空のようにおおらかな人生観を持つイブラヒムを演じるのは、『アラビアのロレンス』（'62）でアカデミー賞候補となって以来、国際派スターとして活躍するも、一時引退を宣言していたオマー・シャリフ。ヴェネチア映画祭の特別功労賞を受賞した本作をきっかけに、第一線に復帰。『オーシャン・オブ・ファイヤー』（'04）で、ハリウッドにもカムバックを果たした。

『ニューシネマパラダイス』、『セントラル・ステーション』に続き、
世界各国を温かな涙で包み込んだ感動作

『わすれな歌』　タイ、116min、2002年

東京国際映画祭2002　アジアの風部門出品作品
2002年カンヌ国際映画祭　監督週間正式出品作品

①2/7　20：10　上映開始
②2/9　18：20　上映開始

戻りたいー　想えば想うほど遠くなる、
愛する人、美しい村。

水辺に家々が並ぶ、タイののどかな村。天真爛漫な青年ペンは、歌を歌うこと、そして村一番美しい娘サダウに夢中。ちょっとお調子者なペンを、最初は敬遠していたサダウだが、その裏に隠された純粋さに惹かれ、やがて2人は結ばれる。穏やかで幸せな新婚生活を送っていた2人だが、たった1本のクジによって引き裂かれてしまう。

「君に逢いたい…」身重の妻に、毎日のように手紙を書き、つのる望郷の思いを“わすれな歌”に込めて歌うペン。そんなある日、芸能プロダクション主催の歌謡コンテストが巡業でやってくる。このコンテストが彼の運命を大きく変えていくことに…。

アジアの新星が描く、ノスタルジック・ラブストーリー

2002年カンヌ国際映画祭 監督週間に正式出品された本作品は、前作の『6 ixtynine 9』が世界の映画祭で「タイのタランティーノ」「ヒッチコックの再来」と大絶賛をあびたペンエーグ・ラッタナルアーン監督の作品。

2月14日(火)・16日(木)

『ライフ・イズ・ミラクル』

フランス・セルビア＝モンテネグロ合作、154min、2004年

2004年カンヌ映画祭　コンペティション出品作品
2005年セザール賞　最優秀ヨーロッパ作品受賞

①2/14　18：20　上映開始
②2/16　20：00　上映開始

**人生はままならないけど、
生きてるって、それだけですばらしい。**

1992年のボスニア。セルビア人のルカは、セルビアとの国境近くの村に、鉄道を引くためにやってきた技師。オペラ歌手の妻と息子は村の生活に不満だが、ルカ本人はここでののんびりとした暮らしが気に入っている。しかしそんな彼の生活も紛争の勃発で一変する。息子のミロシュが徴兵に取られ、妻も男と村を出て行ってしまった！

悲しみながらも、1人のんきに暮らすルカ。そんなある日ルカのもとに美しいムスリム人女性、サバーハが現れる。奇妙な同居生活を送るうち、彼女とルカの間には、いつしか愛が芽生えていく。

しかし、幸せな日々は長くは続かなかった。捕虜となった息子を取り戻すためには、サバーハを手放さなければならなくなる。息子と愛する女性。ふたつの愛のはざまで、ルカはどんな決断を下すのか…。

**どんな絶望的なときだって、生きて愛する力があればきっと奇跡はやってくる。
これは、紛争下、本当にあった出来事をもとにした物語ー**

『友だちのうちはどこ？』

イラン、84min、1987年

1987年テヘラン国際映画祭（最優秀監督賞・最優秀録音賞・審査員特別賞）
1989年ロカルノ国際映画祭（銅豹賞・国際評論家賞・芸術協会賞・国際芸術映画同盟賞・国際キリスト教協会賞）

①2/14　21：10　上映開始
②2/16　18：20　上映開始

誰もが幼い日に持っていた宝物。

イラン北部の田舎町に住むアハマッド。彼の友だちのモハマッド＝レザは、注意されても宿題をノートに書いてこなかったので、先生から「今度宿題をノートにしてこなかったら、退学だ！」と言われる。泣き出す友だちを心配そうに見つめるアハマッド。ところが、帰宅してカバンを見ると、間違ってその友だちのノートが入っているではないか！

今日中にノートを返さないと大変なことになってしまう。慌てるアハマッドは、お母さんの目を盗んでノートを手に友だちの家を探しに行く。しかし、彼は友だちの家がどこにあるのかを知らない。ジグザグ道の丘を越え、林を抜け、道行く人に尋ねてみても、なかなか家は見つからない…。

はたして少年は無事にノートを届けられるのか？

イラン映画界では巨匠と呼ばれる存在、アッバス・キアロスタミ監督の作品。

ジグザグ道を行き来しているだけなのに、徐々に心細くなっていく少年の心が手に取るようにわかり、ハラハラ、ドキドキ、心揺さぶられます。少年を描かせたら世界一と言われるキアロスタミ監督の名作。

「垣間見た・・・中国の顔」

樋口　三希子（青年海外協力隊、2004年12月～中国にて日本語指導）

みなさん、こんにちは。私にとって、ここ中国で過ごす2度目の冬がやってきました。今、外は零下20度近く。氷の粒のような細かい雪が音もなく舞っています。

私は昨年12月に日本語教師として中国・吉林省鎮賚（チンライ）県に赴任しました。人口約30万人。ちょうど高松市と同じくらいです。鎮賚県がどこにあるか、これを知っている人はまずいないでしょう。同じ省内の中国人でさえ、ほとんど知らないのですから。緯度は北海道の最北端、稚内とほぼ同じ。黒龍江省と内モンゴルに近い吉林省の一番奥に位置します。

中国は、青年海外協力隊が派遣されている国の中で最も日本に近い国です。文化もよく似ていれば、人々の顔立ちももちろん同じ。黙っていれば私が外国人だと気付かれることはまずありません。ただし、ここ鎮賚県はとても小さな街。私が向こうを知らなくても、かなりの人が私のことを知っています。そんな小さな街で私が感じていること。それをみなさんにも少し感じていただけたらと思います。

中国という国は、アフリカや大洋州など他の隊員が派遣されている多くの国に比べ、誰もが何らかのイメージを既に持っている国だと思います。北京の天安門広場、上海の高層ビル、香港の夜景。または悠久の歴史を感じる万里の長城、風光明媚な長江の川下り。どれもが中国の偉大な「顔」です。

しかし、「中国」と聞いてそればかりを想像されては困ります。ここ鎮賚県の人々は、そのどれをも見たことがないという人がほとんどなのですから。北京に行ったことがあるという人は本当に一部分の比較的裕福な人。それも、一生に一度か二度の大旅行。北京は鎮賚県の人たちにとって侵しがたい憧れの首都なのです。

彼らは、よく自分の街のことをこう言います。「貧しくて発展の遅れた街」。これは否定できない事実です。もちろん、中国は広大な国ですからここよりも更に貧しい地方もたくさんあります。でも、やはりここ鎮賚県も貧しい地方だということは否定できません。

私が住んでいる県の中心部は電気も水道も通っていますが、ここからほんの数キロ離れただけで、それらがまだない村があります。ほとんどの家が土でできていて、壁や床も土が剥き出しになっています。そんな家々の間を我が物顔に歩きまわっているのが放し飼いにされた牛、豚、鶏などの動物たち。私が教えている生徒の大半は、このような村から街に出てきて高校生活を送っています。

今年の春節（旧正月）を私はそんな村で過ごしました。電気はかろうじて通っていたものの、水道はありません。ガスもありません。電話もありません。シャワーもトイレもありません。それが普通の生活です。こんな生活をみなさんはどう思うでしょうか。不便だと思うでしょうし、そんなところでは暮らせないと思うかもしれません。もちろん私だってそう思いました。「貧しい」生活だと思いました。

けれど、数日過ごすうちに私は自分の心が驚くほど穏やかであることに気付いたのです。なければないで生活できるもの、普段はある方がいいと思い込んでいるけれど本当はない方がいいもの。そんなものがたくさんたくさん私の周りにはあることに気付いたのです。ただ、だからと言って単純にものがたくさんあることを悪いことだとは思いません。「彼ら」に助けられていることもとても多いからです。それに、私が

前列中央が樋口さん

春節のときに滞在した村

教室で

ロバの親子

泊めてもらった家の人も含め、多くの「貧しい」人たちは自ら好んでそうしているわけではありません。彼らは、私たちが普通に持っているものを手に入れるために、汗水流して毎日こつこつと働いているのです。そんな彼らを前にして「モノがない方が心豊かに穏やかでいられる」なんて言葉は簡単には言えません。

日本では「物質的に豊かになりすぎたために、心の豊かさを失った」といった議論をよく耳にしました。そして、大抵の場合、この物質的な豊かさと心の豊かさは共存しないかのように言われていたと思います。

私は最近、この「豊かである」とか「貧しい」という言葉、これについてよく考えさせられます。確かに、物が溢れた生活は時に私を混乱させるし、大事なことを簡単に見失ってしまいがちです。けれども、だからと言って物がなければいつも心穏やかに過ごせると言えるのでしょうか。そんなことも決してありません。大切なのは「バランス」だと思うのです。私の拙い言葉ではうまく言い表すことができませんが、何でも物事は二つの面を持っています。そのどちらか一方だけで物事が成り立つということはないように思います。

例えば、私の学校の生徒たち。朝は7時から授業が始まり、夜はなんと9時半まで授業があります。更にその後1時間の自習。自由時間なんて全くありません。それが決してよくないことは明らかですが、逆に自由すぎるのも考えものです。少し話がずれるかもしれませんが、人々の考え方だって「バランス」次第だと思うのです。例えば例の反日デモとその「復讐」。お互いがお互いの一面しか見ていないために、あのような悲しい事件が起こったのではないでしょうか。一つのことには必ず二つの面があります。いや、二つどころか、もっとたくさんの面を含んでいるはずです。それをお互いに認め合ったら解決できることはたくさんあると思うのです。

さて、偉そうにいろいろと書きましたが、こんな当然と言えば当然のこと、きっと分別のある大人なら誰でも分かっていることだと思います。でも、私はいつも目の前のことにしか考えが及ばず、その時に見えるものだけを信じてしまいがちです。そんな私がこんなことを思うようになったのは、ある人から「陰陽道」についての話を少し聞いてからです。彼は鎮賚県で生まれ育った普通の中国人。中学校しか出ていないことを「私は学歴がない」と言っていましたが、決してそれを恥じている様子はありませんでした。何に対しても公平な目を持っているように感じます。そんな彼が少し酔っ払って「陰陽道」について話をしてくれました。そのとき、物事には何でも二面性があるということを私は少し理解した気がします。

中国に来て、矛盾を感じること、そしてそれらの矛盾が普通に受け入れられていることに対して苛立つことがよくあります。でも、別の方向から眺めてみると、それなりに納得できる部分がそれぞれ少しはあることに気付きました。

中国はとてつもなく広大な国です。新しい顔がちらっと垣間見えたかと思うと、また別の顔が見えます。こんな顔もあったのかと思っていると、また違う顔が目の前に現れます。あまりにいろんな顔を持っているので、百面相している「彼女」にからかわれているような気がするくらいです。

そしてまた、「彼女」はとても気まぐれで、あっちでこう言ったかと思うと、こっちではああ言っているということもよくあります。そんな「彼女」に振り回され早一年。あと一年もこうしてその限りない魅力に、私は仕方なく惹き付けられていくのだろうと思います。

People's Republic of China

日本人の笑顔

高 恩貞（韓国）

昨年の９月17日、アイパル香川で「第16回　外国人による日本語弁論大会」が開催されました。県内に暮らす４か国10名の外国人のみなさんが香川や日本の印象について日本語で発表しました。その中から香川県知事賞に輝いた「日本人の笑顔」をご紹介します。

その他の賞に輝いたのは以下の方々です。

★国際ゾンタ高松ゾンタクラブ会長賞
「転んでもいい」ムハマド・アズハル・ラヒム（マレーシア）

★高松キワニスクラブ会長賞
「お金では買えない貴重な経験」王 峥（中国）

★㈶香川県国際交流協会理事長賞
「大切なもの」初 鉄文（中国）

皆さん、こんにちは。私は高恩貞と申します。今年の４月、韓国から来ました。今、四国学院大学で勉強しています。よろしくお願いします。

ある日、こんなことがありました。私は運動部に入っているのですが、部活動の練習時間が授業と重なって、三日続けて練習に間に合わないことがありました。その遅刻した初日と二日目は、私が「遅れてごめんね」と言うと、同じ部のメンバーは「いいよ！」と笑顔で、遅刻した私を迎えてくれました。遅刻三日目は、リーダーに「遅れる時は連絡してね」と言われたので、私は「ごめんね」と謝りました。でもその日もそのリーダーは決して怒っている様子ではなく、笑顔でした。

しかし、その日の夜、リーダーから１通のメールが届いたのです。「ウンジョン、みんな忙しいけど、時間を守っているから、ウンジョンも気をつけてね」という内容でした。私はメールをもらって、正直、ショックでした。昼間の練習の時に注意されて、私も謝ったので、そのやり取りで、全てが終わったと思っていたのです。でも、そのリーダーの心の中には、まだ私の遅刻のことが残っていたのでしょうか。昼間の一言では言い足りなかったのでしょうか。練習の時のリーダーの顔は、いつもと同じ笑顔だったので、私はこのメールが信じられませんでした。なぜ、昼間の練習の時に、直接、顔を見て言ってくれなかったのかなとも思いました。

また、日本へ来て６か月が過ぎようとしていますが、日本の大学の先生と、韓国の大学の先生の大きな違いがあります。それは、やはり笑顔です。韓国の先生は、例えば学生がうるさい時、注意しますが、厳しい顔で注意しなければならないと考えます。でも日本の先生は、同じ状況で学生がうるさい時、同じぐらい腹を立てていても、顔はニコニコ笑顔なのです。私にはその先生の顔の意味が本当に理解できませんでした。

皆さんの笑顔は、本当の笑顔でしょうか。それとも作った笑顔でしょうか。私はこの数か月間、日本人の笑顔に本当に戸惑いました。そして私は、「日本人の本心は何ですか？」と何度も何度も考えました。

先日、日本人の友達にこのことを話したら、「日本人は、その場の雰囲気を悪くすることを嫌い、直接的に表現するのはよくないのだと考えているんだよ」と教えてくれました。

皆さんは韓国人の国民性をご存じでしょうか。最近では、韓流ブームでご存知の方も多いでしょう。韓国人は情が深い性格で、団結力が強く、また、誇り高き国民だと言われています。一方で、嫌なことは嫌、好きなことは好きと、はっきりと表現するところもあります。

このような韓国人である私は、直接、面と向かって、言ってくれなかった運動部のリーダー、また、教室の中でさえも、学生に配慮した日本の大学の先生のことが本当に理解できなかったのです。でも、日本人の友達の一言で、これが日本人のコミュニケーションのスタイルなのだと今は理解できるようになりました。

「言語を学ぶ」ということは、その言語の文化や語彙を学ぶことだけではなく、その言語の背後にある「文化」や、「その国の人」について、もっと理解を深めなければならないのだと思いました。そして、こうしたお互いの理解の積み重ねが、国と国との「相互理解」につながるのだと思います。私は、この留学のチャンスを活かして、韓国では学べない「真の日本」について学び、韓国へ持って帰りたいと思います。皆さん、是非、私に教えてください。ご清聴ありがとうございました。

I－PAL NEWS

お知らせ

お申込み、お問い合わせはアイパル香川まで、電話等で。
ＴＥＬ：087－837－5908（月曜休館、月曜祝日の場合はその翌日）

アイパル香川外国語講座１月期 ～受講者募集～

１月期は１月５日(木)から始まり、英語、スペイン語、中国語、フランス語、ドイツ語、ハングル、ポルトガル語、イタリア語　全８か国語39クラスの講座が行われています。入門、初級、中級、上級などそれぞれのレベルに合ったクラス選択ができます。また時間帯も10時～12時、13時～15時、18時～20時などいろいろありますので、都合の良い時間帯をお選びいただけます。無料で見学もできます。

なお、講座は４月期、９月期、１月期となっており、年３回受講者の募集をしています。

詳しいことをお知りになりたい方はアイパル香川までお問い合わせください。

外国人のための人権・法律相談

弁護士、人権擁護員等が相談に応じます。
◆日　時：１月20日(金)、２月17日(金)、３月17日(金)
　　いずれも13：00～15：00
◆場　所：アイパル香川会議室
◆申　込：事前予約が必要です

ニコールの すぐ役に立つビジネス英語

高校程度の英語を使用して、英語の会議に参加する時など、仕事で使う英語を話してみませんか？マナーやタブーについてもお話します。
◆日　時：１月14日(土)10：00～12：00
◆場　所：アイパル香川会議室
◆受講料：1,000円
◆申　込：受講料を添えてアイパル香川まで

目からウロコ！ あっと驚く世界の文化 （アイパル冬期国際理解講座シリーズ①）

①済州（チェジュ）
韓国の魅力にもっと触れてみたい方へ。韓国の最南端に位置する島、チェジュを独特の食文化や方言など、様々な面から紹介します。
◆日　時：１月20日(金)、27日(金)
　　18：30～20：00
◆講　師：鄭　恵敬（チョン　ヘギョン）（国際交流員）

②中国の歴史に残る美女たち の話
則天武后、楊貴妃、王昭君など中国の美女達が歴史に与えた影響、逸話、遺されている遺跡などについてお話します。
◆日　時：２月18日(土)、25日(土)
　　10：00～11：30
◆講　師：黄　保仲（コウ　ホチュウ）（国際交流員）

③ドイツのイースター
ドイツのイースターの過ごし方の他、様々な国のイースターエッグを紹介します。一緒にイースターエッグや飾りを作りましょう。
◆日　時：３月１日(水)、８日(水)
　　18：30～20：00
◆講　師：ペトラ・ナーゲル（国際交流員）

④オーストラリアのフォークミュージック
音楽を通じてオーストラリアの文化、生活、歴史などを学びましょう。オーストラリアの独特な言葉も紹介します。
◆日　時：３月３日(金)、10日(金)
　　18：30～20：00
◆講　師：アマンダ・チャン（国際交流員）

⑤アメリカ～現在の難題～
政治（共和党と民主党）、イラク戦争などアメリカ人の目から見るアメリカの抱える難題について一緒に学びましょう。
◆日　時：３月４日(土)、11日(土)
　　10：30～12：00
◆講　師：ニコール・ルシグナン

①～⑤のいずれも
◆場　所：アイパル香川３階会議室
◆受講料：２回で1,000円
◆申　込：受講料を添えてアイパル香川まで
　　（定員30名、先着順）

⑥La　cocina　argentina（アルゼンチン料理）
アルゼンチンで冬によく食べる家庭料理を紹介します。エレナと一緒にお料理しましょう。
◆日　時：２月２日(木)、９日(木)
　　14：00～16：00
◆場　所：香川県社会福祉総合センター６階 調理実習室
◆講　師：エレナ・ムラカミ（国際交流員）
◆受講料：２回で2,000円（材料費込み）
◆申　込：受講料を添えてアイパル香川まで
　　（定員20名、先着順）

映画＆ドラマから学ぼう！ （アイパル冬期国際理解講座シリーズ②）

６カ国６名の国際交流員が映画やドラマを使って自国の文化や生活、現状などを紹介します。
★中国編　１月13日(金)18：30～20：00
★アメリカ編　１月28日(土)10：30～12：00
★オーストラリア編　２月３日(金)18：00～20：00
★ドイツ編　２月15日(水)18：30～20：00
★韓国編　２月22日(水)18：30～20：00
★アルゼンチン編　２月24日(金)18：00～20：00

◆場　所：アイパル香川３階会議室
◆受講料：各講座500円
◆申　込：受講料を添えてアイパル香川まで
　　（定員各30名、先着順）

中国陝西省との 友好提携10周年記念誌

友好提携10周年（2005年）を記念し、両県省の相互理解と交流の発展を図るため、「香川県・陝西省友好提携10周年記念誌」が作られ、県内の各図書館等に配布されました。購入を希望される方はアイパル香川まで（一冊1,200円）。

昨年の10月30日にアイパル香川と中央公園で開催致しました「かがわ国際フェスタ2005」はおかげさまを持ちまして盛況のうちに無事、終了することができました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

Information

世界共通語エスペラントの講習会

◆日　時：１月22日(日)
　　２月26日(日)
　　３月26日(日)
　　いずれも13：30～15：30
◆場　所：アイパル香川３階第２会議室
◆講　師：初級　小阪清行
　　（四国学院大学非常勤講師）
　　中級　ヒルコ・ミドウマ
　　（オランダ出身）
◆会　費：テキスト代　500円
◆申　込：不要（定員なし）
◆問合せ：小阪
　　Tel/Fax：0877－22－4771
　　E-mail：Kiyoyuki.Kosaka@ma2.seikyou.ne.jp

詫間ドリアンクラブの例会

国際交流に関心のある人達が毎月１回集い、楽しいひとときを過ごします。
◆日　時　１月13日(金)グローバルセミナー(韓国)
　　１月15日(日)打ち込みうどん
　　２月　日時未定　日帰りバス旅行
　　３月19日(日)送別パーティ
　　４月16日(日)お花見
　　時間はいずれも14：00～16：00
◆場　所　松崎コミュニティセンター(詫間駅東側)
　　（１月13日はマリンウェーブ）
◆会　費　500円
◆問合せ　矢野　伴治
　　Tel/Fax　0875－83－5289
　　e-mail：yano 99627@yahoo.co.jp

丸亀リンゴクラブの例会

国際交流に関心を持つ人々が月に一度集まり、外国人のゲストの話を聞き、英語を使って外国人と意見を述べ合い、交流をする会です。
◆日　時　①１月15日(日)
　　②２月19日(日)
　　③３月12日(日)
　　④４月16日(日)
　　時間はいずれも14：00～16：00
◆場　所　丸亀市生涯学習会館４階第３講座室
◆ゲスト　①マーク・ホール（イングランド）
　　②リー・グルボン（アメリカ）
　　③デイビット・ウェリングトン(アメリカ)
　　④ダイアナ・スミス（アメリカ）
◆トピック　①西側の問題
　　②ニュージーランドのチャレンジへの道
　　③日本とアメリカ
　　④アメリカ人と日本人の意思の疎通の型の違い
◆参加費　1,000円
◆問合せ　中塚正信
　　Tel：0877－46－5694

語学を生かして 国際的アクション！

栗林公園での善意通訳、国際交流事業での通訳、国際会議での参加協力などを行っている香川SGG（香川善意通訳の会）では国際会議場（サンポート高松シンボルタワー内）での活躍を期待できる会員を募集しています。
◆対　象　18才以上の香川県在住か、勤務している人（外国人も含む）で英語（英検２級程度）・中国語などの外国語が話せ、ボランティア精神のたくましい人。
◆入会金他：入会金：3,000円、年会費3,000円
◆問合せ先：香川SGG(香川善意通訳の会)事務局
　760－0007高松市中央町12－12
　Tel：070－5681－8484（成田）

※　入会希望者は資料送付のための切手240円を同封し、氏名、住所、Tel番号を明記し、封書で香川SGG事務局までお申し込みください。

国際協力NGOによる 日本語教育ボランティア入門セミナー

綾歌郡綾南町にアジア・太平洋地域を中心に国際協力活動を繰り広げている「オイスカ」の四国研修センターがあります。毎年１月下旬に数カ国の研修生が来日し、３か月の日本語学習を経て農業技術、家政技術の研修に励んでいます。国際協力NGOオイスカの現場ではどんなことが行われているか、また日本語をどのように指導しているかの実践例を紹介します。参加者の中から、ご希望の方はセンターに今度やってくる研修生の日本語指導ボランティアとしてお手伝いしていただきたいと思っています。
◆対　象　国際協力と日本語教育に興味のある方。未経験者向けの内容です。
◆日　時　１月21日(土)、28日(土)
　　10：00～12：00
◆場　所　アイパル香川　会議室
◆参加費　500円（教材費込み）
◆定　員　10名（応募者が５名未満の場合は開催なし）
◆申　込：オイスカ四国研修センター
　　Tel：087－876－3333
　　Fax：087－876－3334
　　Mail：oiscastc@mx8.tiki.ne.jp

～アイパル香川の事業をご紹介します～

★冬季アイパル子どもクラブ

アイパル子どもクラブは、小学校３年～６年生を対象に、年２回（夏、冬）開催しています。冬季アイパル子どもクラブでは、国際交流員や国際協力関係者を講師に11月～12月の土曜日に４回にわたり国際理解事業を行いました。

第１回目は、「ハロウィンパーティー」。各国（オーストラリア、韓国、中国、アメリカ、ドイツ、アルゼンチン）出身の国際交流員と一緒にハロウィンに関するクイズやゲームを楽しみました。なかでも一番盛り上がったのが、“Trick or Treat！”（お菓子をくれないといたずらするぞ）と言ってジャンケンでキャンディーを獲得していくゲーム。部屋中に子どもたちの掛け声が飛び交っていました。また、当日は仮装コンテストも行いました。魔女やミイラ、トランプマンなど様々なアイディアで仮装した子どもたちは楽しみながら、欧米の祭事についての理解を深め、異国のイベントの雰囲気を味わっていました。

ハロウィンパーティ

第２回目は、「ゲームで学ぼう国際協力（開発教育）」をテーマに、㈶日本ユニセフ協会香川支部の橋田行子さんを講師にお迎えして行いました。「世界の富は誰のもの」のゲームでは、子どもたちを「豊かなグループ」「貧しいグループ」「中間層グループ」の３グループに分け、それぞれのグループにジュースの量に差をつけて配り、子どもたちにどんな気持ちがしたかを話し合ってもらいました。このゲームを通じて、世界の富の配分がどのくらい不公平であるかを体験し、富が先進国に集中していること、また、発展途上国では多くの人口で少ない富をさらに配分しなくてはいけない現状があることを知ることが出来ました。

ウィンターフェスティバル

第３回目は、世界のさまざまな国の冬の過ごし方を紹介する「ウィンターフェスティバル」を行いました。今年は日本におけるドイツ年。国際交流員による冬の過ごし方のお話の後、子どもたちはドイツのクリスマスソング「もみの木」を歌ったり、クリスマスケーキ「シュトレン」を試食したり、「アドヴェントクランツ」（もみの木でできたリースに４本のキャンドルを立てたもの）に点灯したりして、ドイツのクリスマスを体験しました。最後は、サンタさんが登場して、世界のクリスマスソングに合わせてプレゼント交換をしました。

第４回目は、青年海外協力隊 OG とドイツ出身の国際交流員による講座を開催する予定です。本誌が発行される頃には終了していますが、来年度は６～７月の土曜日に「夏季アイパル子どもクラブ」を実施する予定ですので、多くのお子さんのご参加をお待ちしています。

韓国料理教室

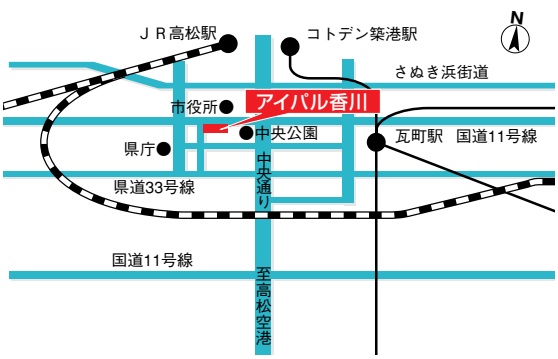
★アイパル秋期国際理解講座

国際理解講座は国際交流員が講師となり、様々な講座を年３回（春・秋・冬）開催しています。今回の秋期国際理解講座では４か国（中国、韓国、アルゼンチン、オーストラリア）出身の４名の国際交流員が①「目からウロコ！あっと驚く世界の文化」と②「一緒に作ろう！世界の料理」をテーマに10～11月にかけて講座を行いました。その一部をご紹介しますと、①のシリーズでは村上エレナ（アルゼンチン出身）が「アルゼンチンフォルクローレ」を開催し、フォルクローレの音楽を紹介したり、みんなで一緒にダンスを踊りました。②のシリーズではチョン・ヘギョン（韓国出身）が韓国料理教室を開催し、スン豆腐チゲを作りました。受講生の皆さんは「辛い！でも美味しい」と言いながら、本場の味を堪能していました。次回は冬季講座でアメリカ、ドイツ出身の国際交流員も加えた６か国６名が講座を行います（P７参照）。みなさん、是非参加してみてください。

アルゼンチンフォルクローレ

アイパル香川 香川国際交流会館
〒760-0017
香川県高松市番町1丁目11番63号
TEL 087-837-5901 FAX 087-837-5903
開館時間/(火)～(日)9:00～18:00
休館日/月曜日・12月29日～1月3日
(月曜日が休日の場合は開館し
原則として翌日の火曜日が休館)

I-PAL KAGAWA
KAGAWA INTERNATIONAL EXCHANGE CENTER
1-13-63 Bancho Takamatsu Kagawa 〒760-0017
OPEN/TUE～SUN 9:00～18:00
CLOSED MON・DEC.29toJAN.3
If monday is a public holiday,
the center will be opened on this day.
But closed on the following day.



これから一年中で一番寒い季節ですね。冷え込んだ夜の翌朝は、ひょっとして雪が積もっていないかなァと期待してしまいます。こんな呑気なことが言えるのは温暖な瀬戸内に住んでいるおかげなのでしょうが(＾＾;)今年もよろしくお願いいたします。

2006 年 1 月号・通巻第 91 号
編集・発行
(財)香川県国際交流協会
E-mail:i-pal@i-pal.or.jp
URL:http: //www.i-pal.or.jp/
高松市番町1丁目11番63号
TEL.087-837-5908 FAX.087-837-5903